

三 研究実践の概要

研究推進にあたっては、五つの研究部会を組織し、有機的な関連を図りながら進めた。

1 教科研究部会

(1) 研究のねらい

自ら課題解決を図り、生徒一人一人が基礎的・基本的な内容を実身に身につけ、意欲的に学習する生徒の育成

(2) 実践内容

① 学習の仕方の習得
 ア 生徒の「学習の手引き」を作成し、基本的な学習の仕方を身につけるように努めた。

イ 学習の心得(きまり)を設定し三つの準備を徹底させ、主体的な学習を進めるための基盤とした。

- 心の準備をしよう
- 考える準備をしよう
- 体の準備をしよう

② 主体的学習の展開

ア 学習指導過程を全面的に見直し生徒中心の学習過程とし、生徒主体の授業を展開した。(資料3)

イ 指導過程の中に、自分で考え、判断し、実行(表現)する場を設定することにより、生徒の自己指導能力を育成するように努めた。

③ 望ましい学級集団づくりと「わかる授業」の実践

ア 生徒がお互いに個性を認め合える温かな学級集団づくりに努めた。

イ 教師が意図的に励まし、称賛することによって、生徒一人一人の存在感・成就感が感得できるようにした。

ウ 支持的風土のある学級を基盤とし、授業の内容が「わかる」こと

によって学ぶ楽しさを体得できるようにした。

2 道徳部会

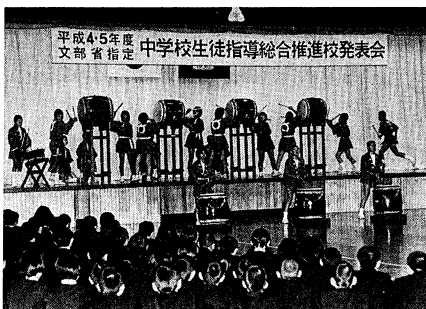
(1) 研究のねらい

価値に向かって生徒一人一人が自ら感じたこと、考えたこと、判断し

資料3

〈主体的に学習を進めるための手順〉

段階	活 動 内 容
課題をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題をよく読む。 ○ 条件や場面・様子をはかりながら ○ 分かっていないことは何か。 ○ 求めることとは何か。
見通す	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見通しを立てる。 ○ 直観を生かしてなるか ○ どの様な考え方をすればよいか ○ どの様な解き方・考え方をすればよいか ○ どの様な用具や材料を準備すればよいか ○ どの様な活動をすればよいか <p style="text-align: right;">見当をつける。</p>
考える	<ul style="list-style-type: none"> ○ ① 自分の考えた方法で解く。 ○ ② 今まで習った考え方をもちいて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ ノートを見直して ○ 教科書を書き直して ○ 教員が学んだことを思い出して ○ 友達と話を聞いて ○ 順序よく整理して </div> <p style="text-align: right;">→ 確かめながら → よい方法を見つける</p>
発表する	<ul style="list-style-type: none"> ○ ① 自分分を考へて発表する。 ○ ② 順序よく考へて発表する。 ○ ③ 友達と考へて発表する。 ○ ④ よりよい方法について話し合う。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ ① まとめる。 ○ ② 練習をする。 ○ ③ 反省をする。



公開当日の生徒集会 ～強魂太鼓～

- ④ 「道徳的な三つの心」を各教室に掲げ、意識の高揚を図った。
 - 認め合う心
 - 支え合う心
 - 高め合う心
- たことを発表し、それをお互いが認め合う共感的な態度を持つ生徒の育成
- (2) 実践内容
- ① 視点1「主として自分自身に関すること」、視点2「主として他の人とのかわりに関すること」に重点をおいて授業を進めた。
- ② 道徳性アンケートを実施して、より客観的に生徒を理解した上で授業に臨んだ。
- ③ 本音を出し合えるような発問の仕方及び内容を研究し、価値の内的自覚を図った。